

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	国分寺市家庭教育支援チーム (呼称)「プレイセンター小さな森」
活動開始年度	2008(平成 20)年度
活動拠点	I 東元町 平安神社 / II もとまち地域センター / III 東元町第2マンション
活動範囲	国分寺市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (自己資金、参加費、助成金ー社会福祉協議会)
組織体制	<u>15</u> 人 元保育士 5 人、元幼稚園教諭 1 人、カウンセラー 2 人、プレイセンタースーパーバイザー 5 人、おもちゃコンサルタント 2 人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 プレイセンター小さな森は、ニュージーランドのプレイセンター理論を中心にした活動を行う。 活動の中心は、 ① 子どもが豊かに育つ、季節の行事、おもちゃの広場で木製の子どもの成長に良い玩具をそろえて提供、絵本を親しんでもらうために読み聞かせや貸出 ② ・育てる側の成長(学び)。月に 1 回の子育てについての勉強会 ・月 1 回の子育て講座 ・子育て相談を受け、安心子育てを応援 ③ みんなで運営 子どもの預かり合いをみんなで(例:母の通院、上の子の参観日など下の子をみんなで保育)など I(月)、II(木)、III(水木金)活動 ・お手玉、けん玉、竹馬など昔遊びの伝承活動(去年は放課後プランで、おもちゃの広場を学校体育館で)→テレビゲームの他にも遊びは沢山あるよ→この提供

活動の成果	<p>0～3 歳の子どもと母親が中心メンバーだが、プレイセンター内では、母同士、子ども同士、おとな集団と子ども集団も仲良し。この関係が、幼稚園→小学校へ行っても続く。学校へ行っても親しい友達が帰宅すれば、家同士の付き合いで子育てが安心という。</p> <p>子育て支援は地域支援へと成長。地域の農家でブルーベリー摘みやみかん狩りをさせてもらい、これらを通じて地域で挨拶し合える関係も育っている。</p>
活動において苦労した点や課題	<p>子どもが集まる活動への理解が得られにくく、活動場所を確保しにくい。</p> <p>場所が確保できず、その都度会場を予約し活動が続けているが、必ず確保できる保障がない。</p>
今後の活動目標	<p>核家族の子育ては、母がインフルエンザにかかった、母が通院したい、子育てに疲れた、少しほっとしたい(気分新たに子育てしたい)、久々に友人に会いたい。などなど生活のいろんな場面でサポートが必要。母一人で(父は長時間勤務の人が多い)、複数の子の子育ては容易なことではない。プレイセンターの中で行われている助け合いの子育てを地域に広げるために「プレイセンターⅢ」を開く。これをもっともっと広げていきたい。</p>
問合せ先	<p>一般社団法人(非営利型)「プレイセンター小さな森」</p> <p>渡辺 金子 (TEL/FAX)042-324-5777</p>